

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## 👁️今週のピックアップ感染症

### ● 感染性胃腸炎(細菌性胃腸炎)

感染性胃腸炎には、細菌性のものとウイルスによるものがありますが、夏季に多い傾向があるのは細菌性胃腸炎です。

#### ◆どんな病気？

- 細菌性のもものでは、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌(O-157等)、サルモネラ、カンピロバクターなどが原因となります。
- ・症状……原因となる病原体の種類、感染経路、身体に入った病原菌の量、感染者の健康状態により異なりますが、主に吐き気や下痢、嘔吐、腹痛、発熱などがみられます。
  - ・潜伏期間…1～3日程度(病原体によりもっと長い場合もある)
  - ・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染(接触感染)、汚染された食品を食べることによる感染(経口感染)があります。
  - ・流行期……細菌性胃腸炎に関しては、年間を通して発生がありますが、夏場に増加するものが多いです。



#### ◆かかったらどうすればいいの？

- ・細菌によるものであれば、抗生物質の服用が有効な治療法となります。
- ・下痢や嘔吐が続くときには、脱水に気をつけます。嘔吐がおさまったら、少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をとるよう心がけましょう。

#### ◆予防法は？

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール(ノロウイルスには無効)等でしっかり消毒しましょう。
- ・調理をするときは、中心部まで火が通るようによく加熱(85℃、1分以上)しましょう。

期 間		平成28年 第26週		平成28年 第27週	
		6/27～7/3		7/4～7/10	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	1	0.04	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	2	0.13	3	0.19
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	45	2.81	51	3.19
感染性胃腸炎	➡	72	4.50	80	5.00
水痘(みずぼうそう)	➡	0	0.00	5	0.31
手足口病	➡	19	1.19	14	0.88
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	7	0.44
突発性発しん	➡	16	1.00	13	0.81
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	37	2.31	45	2.81
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	24	1.50	24	1.50
急性出血性結膜炎	➡	1	0.20	1	0.20
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	11	2.20	10	2.00
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	3	0.60
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	2	0.40	1	0.20